

## 【自己紹介兼取組紹介4】

「サーキュラーエコノミー指標について」

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域  
資源循環社会システム研究室 室長

田崎 智宏 氏

自己紹介:田崎智宏 博士(学術)



# 国立環境研究所で24年間、学際的に研究 (資源循環社会システム研究室 室長)

- ・リサイクル等のサーキュラーエコノミーの分野  
(物質フロー、指標、EPR、デポジット制度など)
  - ・大きな視点でのサステナビリティの分野  
(持続可能なライフスタイル、SDGs、統合アプローチ)

専門: システム分析と 政策科学

審議会等：中央環境審議会委員（家電リサイクル、廃掃法）

循環基本計画の指標や各種リサイクル、2Rの検討会委員  
環境省SDGs関連の委員など

業績: 85+の原著論文、34の書籍、375+の口頭発表、9のデータベースを公表



プロフィールの  
ページへ

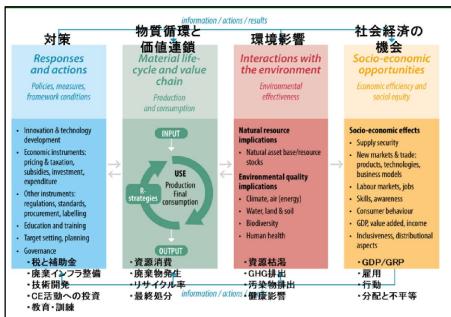
# 国際的な指標開発の動向



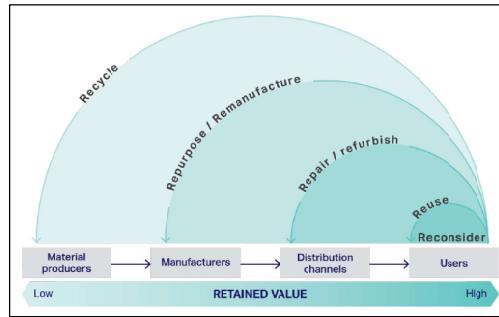
## EUのCEモニタリング指標



エレンマッカーサー財団のCirculytics指標



ISO規格  
59000シリーズ  
(2024.5)



**WBCSD**のCircular Transition Indicators（現在はver4）

# Systems Change Labによるグローバルレベルの指標データ・プラットフォーム

\*WRI(世界資源研究所)  
BEF(ベネス地球基金)など  
がパートナー&資金提供者

The screenshot shows two main sections of the dashboard:

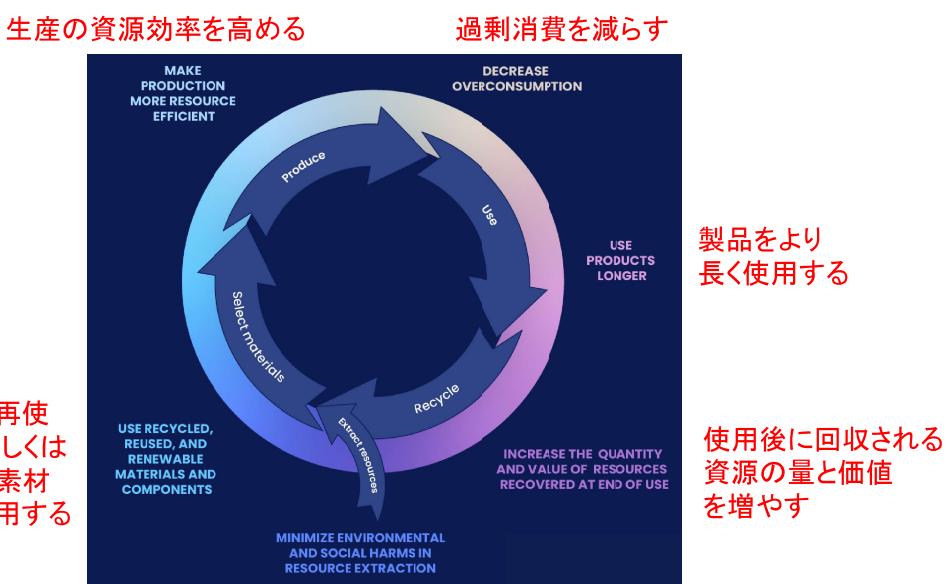
- Circular Economy:** This section includes a "Highlights" box with bullet points about increasing resource use, material footprints, recycling rates, and product lifetimes. It also lists "The 6 shifts needed to transform the Circular Economy system".
- Data Dashboard:** This section displays 14 indicators across various sectors (Finance, Transport, Power, etc.) with "On Track" or "Off Track" status. Examples include "Corporations measuring and disclosing climate-related financial risks and management" (On Track), "EVs in light-duty vehicle sales" (On Track), and "Population without access to electricity" (Off Track).

At the bottom right, there is a URL: <https://systemschangelab.org/>

3

## サーキュラーエコノミー実現のための6つのシフト

リサイクル・再使用された、もしくは再生可能な素材や部品を使用する



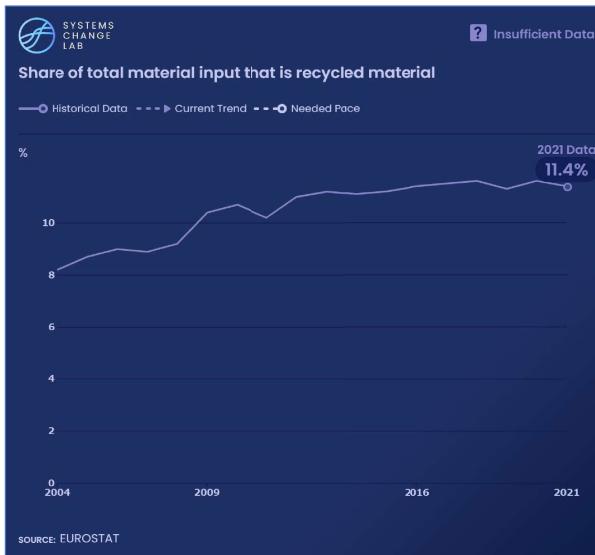
資源採取における環境的・社会的悪影響を最小化する

Source: System Change Lab. <https://systemschangelab.org/> を田崎和訳

4

# ライフステージを超えて、取り組みを「つなぐ」重要性

## 素材選択段階(上流)



## 廃棄段階(下流)



5

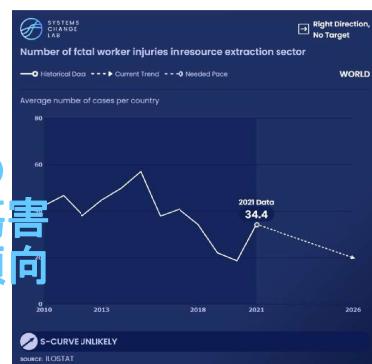
## 資源の採取・採掘は、未だ社会問題を引き起こしている

- 効果的な対策が求められている
- 資源利用がどのようにこれらとの社会問題と関連しているかの認知を高める必要がある

人権侵害は改善せず



労働者の深刻な傷害は改善傾向



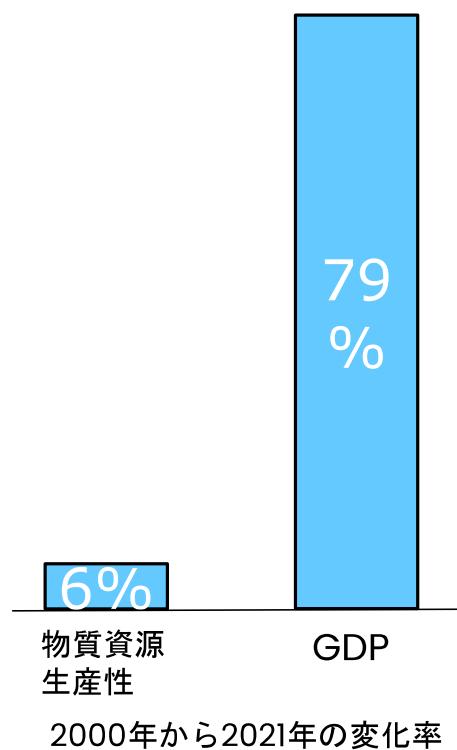
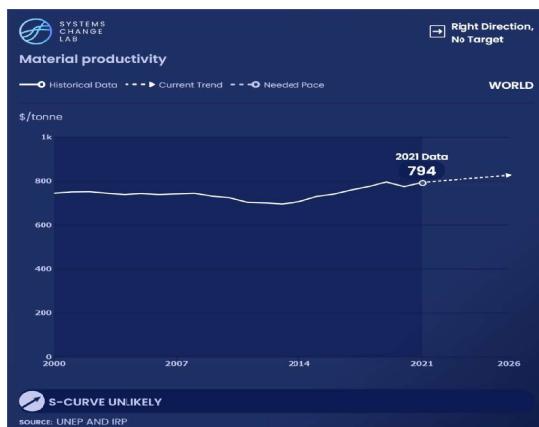
児童労働は改善せず



Source: System Change Lab

6

世界の資源生産性は、21年間でたったの6%しか増加していない  
この間、GDPは79%も増加した

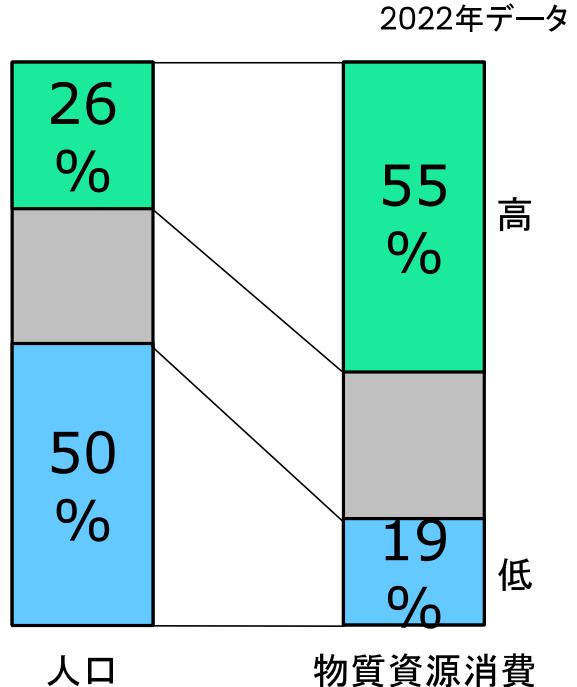


出典: 田崎 & System Change Lab

7

## 資源利用の公平性について

- 一人あたり物質フットプリントが大きい世界人口の26%が世界の物質フットプリントの 55%を消費している
- 一人あたり物質フットプリントが小さい50%の人口は、世界の物質フットプリントの 19%を消費

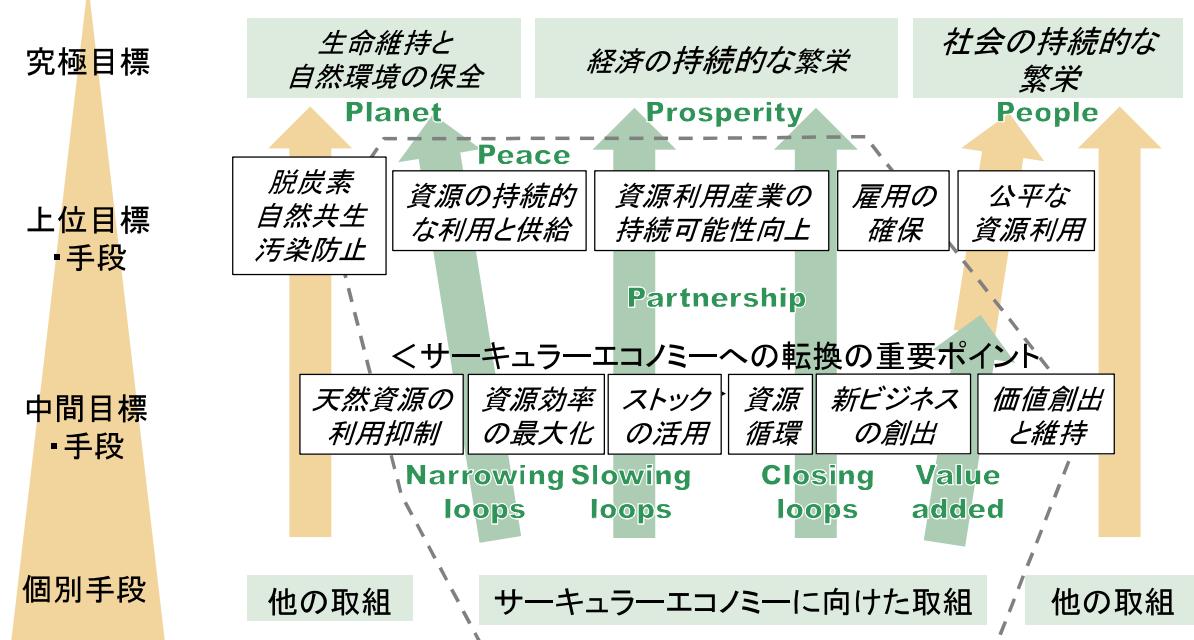


出典: 田崎 & System Change Lab

8

# サーキュラーエコノミーの取り組みの俯瞰

＜目的と手段の階層性＞ ＜環境・経済・社会のトリプルボトムラインにおける階層性＞



田崎 (2024) サーキュラーエコノミーの実現に向けた転換と情報発信. アド・スタディーズ, 67, [https://www.yhmf.jp/as/postnumber/vol\\_87\\_02.html](https://www.yhmf.jp/as/postnumber/vol_87_02.html)